



No.1112
9月号

2016
September

丘の大地

JAびえい・広報誌



地域再生に激甚災害指定を求め

— 8/28 政府与党幹部への現地説明から —

- 台風連続上陸2
- 農業まつり4
- 焦点 (FOCUS)5
- 営農情報6
- 情報カン10~11

台風連続上陸

収穫直前の圃場を襲う



6月まで発生していなかった台風が一転して日本列島を襲い、各地で甚大な被害を発生させました。北海道に相次いで上陸した3つの台風は、収穫前の田畑に深い爪痕を残しています。

「またも台風に襲われる?！」

美瑛町では今回の台風上陸で置杵牛地区や旭地区、美田地区などで河川の氾濫が起こり、水稲、馬鈴薯、南瓜などの冠水被害が発生。町道白金美瑛線他の道路損壊や水道施設送水管破断などに及んでいます。

白金・24時間降水量最多

稲穂もやや色付き始め、9月半ばには軽やかなコンバインのエンジン音が聞けるはずの水田が「あつという間」に濁流にのまれました。稲作生産の歴史が深く、良質米を生産する田園地帯である置杵牛地区と旭地区に与えた影響は甚大です。

また、美田地区から旭地区を流れる美瑛川が溢れ、美田地区の酪農施設にも濁流が入り大きな被害をもたらしました。

旭川地方気象台は、台風7号、11号、9号の3つの台風が道内に相次いで上陸したことに関連し、19日から23日までの降水量を発表しました。上川管内の多くの観測

地点で8月の平年値を上回っているとしています。

美瑛川・置杵牛川への降水が直接関連のある美瑛町白金では23日午前11時までの24時間降水量が191^ミとなり観測史上最多を更新。降り始めから23日までの5日間の降水量は294.5^ミを記録しています。

謹んで 台風災害の お見舞いを 申し上げます

このたびの度重なる台風により、被害を受けられました組合員の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

一日も早い復旧で営農活動が開始されますよう心からお祈り申し上げます。

代表理事組合長ほか
役職員一同



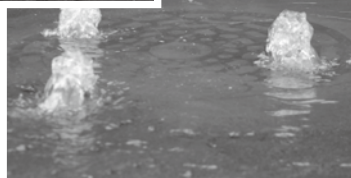
平年なら湖底が見える聖台ダムは満水の状況

美瑛川と置杵牛川の合流地点に構える当JAの倉庫・調整・選果施設にも濁流が逆流し、施設及び倉庫の一部が冠水しました。23日、午前8時頃から河川の一部が流入。瞬く間に水路が溢れ施設の一部や保管品に被害を及ぼしました。JAでは被害の大きさから職員を現場に総動員し、被害を最小限に食い止める努力をしました。現在の水害の犠牲となつてしまいました。現在完全復旧に向け全力で対応を行っております。

JA施設も冠水



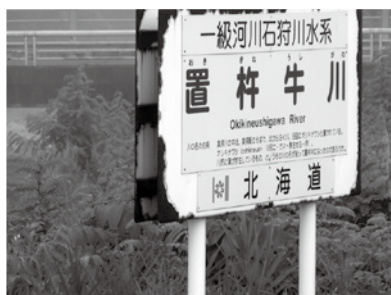
置杵牛川と美瑛川号流域の美田橋付近



施設の冠水と排水作業



俵真布地区の経済と生活の要の九線橋はまたも無残な姿に



2度の災害をもたらした置杵牛川の下流域と8月24日の流量



収穫を目前に置杵牛川の氾濫で甚大な被害に



この頁は災害被害調査中に作成しました。面積などの詳細は後日お知らせしますのでご了承ください。



美瑛川の氾濫は美田地区の牛舎にも及ぶ

どかんと
農業まつり

夏の祭典に無情の傘の花開き

美瑛町農畜産物を主役に美瑛の夏を町内外の皆さんと楽しむ「丘のまちフェスティバル／どかんと農業まつり」が8月20日、美瑛町駅前の特設会場・本通り特設会場で行われました。このイベントは歴史を重ねて定着し、今年の開催も心待ちにされていました。折からの悪天候で終始「傘の花開く」状況。時折豪雨が会場を襲い、この日の成功に向け準備を続けた丘のまちフェスティバル実行委員の夢を砕くものとなりました。

悪天候ながらもこの日を楽しみにしていた美瑛ファンや組合員の皆さんも多く、農を主役に多彩な催しが行われました。

フェスティバルはメインステージ前で「よさこい同

好会」メンバーによる演舞に続き、主催者を代表し熊谷代表理事組合長、浜田町長が力強く歓迎のあいさつ。予定されていた怪力自慢俵担ぎリレーは、悪天候で足元が悪く危険も想定されることから中止となり、地域対抗のじゃんけん大会への種目変更を余儀なくされました。

なお、このフェスティバルは例年通り多彩なプログラムが用意されましたが、午後のステージショーや仮装盆踊り、花火大会は日程の変更や中止に追い込まれるものとなりました。なお、この催しは例年3万人ほどが参加するにぎやかなものですが、今年の参加者は主催者発表で約1万人とされています。



オープニングイベントの演舞は無情の雨に打たれたものの元気に披露



人気の美瑛農産品に長い列



今年も青年・女性部・フレッシュミセスのご協力で大鍋豚汁（左）



“もちまき”はテント内でのもち配布に（左）



お笑い芸人“響”のライブ



枝幸漁協協賛の“カニの早食い”（上）と歌謡ショーから“戸川よし乃”さん（左）



俵担ぎリレーは地区対抗じゃんけん大会に（上）

焦点 FOCUS

ピーク時の半分まで低下 道民の米消費は年に約5*。

道など関係16団体で構成する「北海道米食率向上戦略会議」が気になる数字を発表した。この組織では、北海道米の消費拡大に向けた活動を行っており、道民の1人当たりの年間消費量と併せ、道内食率（道内の米消費量に占める北海道米の割合）の向上に向けた取り組みなどが検討されている。

米の年間消費量は昭和37年度の118*をピークに減少傾向が続いている。これまでの消費経過を見ると、平成17年度の64.8*から平成27年度には58.9*まで低下している。道民全体の年間米消費量は減少の一途を辿っているのだ。

一方で同会は平成17年度から北海道米の道内食率向上にも取り組み、数値を公表している。それによると平成24米穀年度以降は目標の85%を上回って推移してきている。消費人口や1人当たりの年間米消費が減少に向かう中、今後とも北海道米の道内消費量を維持・拡大していくためには食率の向上とともに消費量の拡大が求められる。同会では「道内食率の向上」と併せて「道民1人当たり米消費量」をもとにした米消費量の拡大を新たな目標として設定し「米チェン」のような幅広い道民運動につなげることを検討している。

ところで道内食率であるが、同会が設立された平成17年度は62%程度だったものの米主産県並の食率80%を目標に掲げ生産者ともども「米チェン」をキャッチフレーズに取り組んだ結果、道内食率は飛躍的に向上し23年度で82%に到達している。北海道米といえども今では主産地の秋田や新潟に負けない良食味米生産に取り組んだ生産者の努力を忘れてはならない。もちろん、「きらら397」や「ほしのゆめ」「ゆめぴりか」などの品種の登場が奏功しているが、何と云っても新品種の登場に連動した生産技術があつてこそなのだ。25年度には91%と過去最高を記録したが、このまま好調な推移を願うものである。

百合根消流懇談会



生産状況を話す藤原部会長

良質生産で 価格に期待

高い生産技術で北海道の百合根生産をリードする百合根生産部会（藤原部会長）の消流懇談会が8月26日、美瑛町白金で行われました。懇談会では、藤原部会長が「今年

は春先から低温が続いていたものの、なかなかの良い出来。4月は獲れそう。市場の皆さんにも期待して頂きたい」と強調。続いて大阪中央青果／佐藤慶一郎部長が「27年度は野菜全般が高かったものの、百合根は活発な売れ行きではなかった。今年のお盆までは青果物各市場とも価格より数量でカバーするという形だ。百合根は全道的に面積・収量ともに減少傾向。計画的な出荷が何より大事。美瑛の今年の百合根はきれいな仕上がりだ。サビとアンコが出ない品質管理を願えば価格でも頑張れる」と強調していました。農業振興計画での28年目標は95*、73百万円余を計画しています。



bi.yellにて提供されたオリジナルスイーツ

美瑛高生 オリジナルスイーツ

美瑛高校家庭クラブが美瑛の食材をメインに作り上げた「美瑛ハスカップロール」が、8月20日、ビ・エールカフェにて提供されました。材料には美瑛産小麦「きたほなみ」や美瑛牛乳、ハスカップなどを使用。ハスカップ特有の酸味と、あずきクリームの優しい甘み特徴で、来場者の好評を博しました。

生産技術情報 資材

宮農ホット ライン HOTLINE

9月の技術対策と資材

8/23の大雨に伴う 浸水冠水ほ場への対応について

8月17日、20日、22～23日にかけての大雨により各河川の増水による堤防の決壊・用排水等の増水により、水田、畑作物、野菜、施設等で浸水・冠水等の影響が見られました。当面は、排水を促進し、ほ場の乾燥化が重要です。

被害の対応をする場合は、今後の降雨情報を確認し、二次災害にならないよう注意しましょう。

1 水稻

- ①水田に流れ込んだ流木等のゴミは、速やかに除去し水の流れを確保する。
- ②崩れた畦畔や用水路、水口は、水が引いた後、速やかに改修・補修する。
- ③穂や葉に泥がついた場合は、防除機等を用いて付着した泥を落とす。泥が落とせない場合は、別刈りにして収穫・調製する。
- ④被害を受けたほ場は倒伏しやすいため、ほ場を乾かし、地固めをして倒伏防止に努める。

2 畑作物

ほ場内の滞水は、溝切りなどにより速やかに排水対策を実施し、作物によってはほ場の入れようになり次第、防除を実施する。

- ①大豆：べと病は、病斑が認められる場合は実施する。
リトミルゴールMZ(収穫45日前まで)、フェスティバルC水和剤(収穫7日前まで)など
- ②てんさい：気温が高い状況が続いているので、褐斑病の防除を実施する。
加ミボルト(ヨウミも併せて防除)
- ③ばれいしょ：収穫期に達しているほ場は、ほ場の乾燥を待つてできるだけ早く収穫する。収

穫時には、可能な限り腐敗・病いもを選別する。生食用などは収穫後十分風乾し、傷・打撲等を除いて出荷する。収穫まで期間のあるほ場は、疫病防除では塊茎腐敗に効果のある薬剤の選定が必要。

3 野菜 ～とにかく土壌の乾燥促進！～

- ①滞水している箇所がある場合、土壌へしみ込むのを待たずにスコップによる溝切りなど積極的にはほ場外へ排水しましょう。
- ②ハウス内が滞水した場合、開口部の全開に加え裾ビニールの開放、マルチフィルムのまくりあげや除去などにより、ほ場の乾燥を促進してください。また換気扇・循環扇などがあれば、積極的に利用しましょう。
- ③泥水などにより、作物体に目に見えない細かい傷がついていることが考えられます。細菌性病害対策として、銅剤による防除を実施しましょう。
- ④土壌に水分があると、ほ場内の湿度が高く推移します。
定期的な殺菌剤の散布を実施しましょう。ただし、使用時期に十分注意しましょう。
- ⑤根痛みによる樹勢の低下が見られる場合は、葉面散布などで生育を維持しましょう。

☆果菜類…細菌性病害対策・灰色かび病、葉かび病等の対策

・泥等がついた茎葉・果実は除去し、収穫できる果実は早めに収穫しましょう。

例：トマト・ピーマン：カスミンボルドー

1000倍(収穫前日)

ミニトマト：Zボルドー 500倍

(使用時期 記載：無し)

上記の他、灰色かび病等の薬剤を散布する。

☆ブロッコリー・・・花雷腐敗病・軟腐病の対策

例：Zボルドー 500倍

(使用時期 記載：無し)

☆たまねぎ

例：スターナ水和剤 1,000倍(収穫7日前)

ポリベリン水和剤 750～1,000倍(収穫3日前)

☆ながねぎ 根痛みによるべと病・さび病の対策

例：アミスター20フロアブル 2,000倍(収穫前日)

ホクレン冬期子牛飼養環境向上支援事業 実施中！ （平成28年度ホクレン酪農生産基盤強化対策の一環として）

北海道では特に冬期間における分娩時および分娩直後の子牛事故率が高い傾向にあります。

冬期間の子牛の寒冷対策は北海道の酪農家に共通する課題ですが、分娩時のケアに加えて、出生後すぐに子牛の体を乾かし、暖め、保温を行うことが子牛の死亡事故や疾病の防止につながります。

酪農家の皆様におかれましては、今年の冬、子牛の寒冷ストレス対策の強化に向けて本事業をご活用いただき、将来の経営基盤の基礎となる優良後継牛の生産にお役立てください。

◆北海道の子牛事故の実態

表1の北海道NOSAIの家畜共済実績によると、平成26年度の乳用胎児・子牛の死産事故は約45,000頭におよびます。この内、「死産（胎齢240日～出生当日の死亡）」が約30,000頭と全体の約2/3を占めており、その相当数が分娩開始時には生きていとされています。

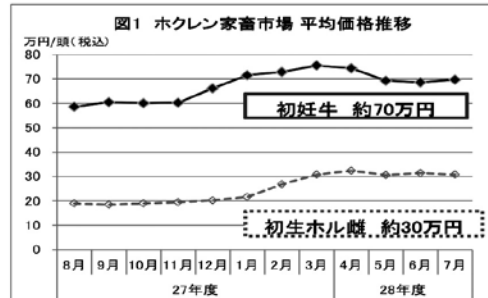
表1 北海道NOSAI 家畜共済事業実績（平成26年度）

乳用胎児・子牛の死産事故	45,468頭
内、死産（胎齢240日～出生当日の死亡）	30,397頭
内、他の死産事故	15,071頭

資料：北海道NOSAI

◆酪農経営への影響

図1のホクレン家畜市場の相場をみると、直近のホル初生雌は約30万円前後の高値で推移しており、将来の後継牛としての経営への貢献も考慮すると1頭でも2頭でも死なせないことが経営ロスの削減につながると考えられます。さらに初妊牛も直近は約70万円前後で推移し外部導入が容易ではない状況が続いており、自家産の後継牛の確保が大きな経営メリットにつながると考えられます。



～事業概要～

■事業の期間

平成28～29年度の2か年間

■助成対象者

ホクレンへの生乳出荷者

■助成割合・助成額

生産者実質負担額の50%を助成
但し、2か年で30万円/戸（税抜）が上限

■参加申込期日

平成28年10月（平成28年度事業）

■助成対象費用

生乳生産者段階における分娩時および分娩直後の子牛の飼養環境向上に資する下記3カテゴリの物品の導入費用の一部を助成。

カテゴリ	対象物品
①子牛を暖める、乾かす	ヒーター付子牛加温装置、赤外線ヒーター、 電熱マット、カーフジャケット、 哺育牛用電熱水槽など
②子牛を隔離する	カーフハッチ、カーフペン、など
③分娩を監視する	分娩監視システム、分娩監視カメラ、など

～取組事例～

分娩を監視する

分娩監視装置などを利用して分娩に立ち会うとともに、分娩直後の子牛のケアを行う。

乾かす・暖める

ヒーター付子牛加温装置などで子牛を乾かし暖めることで、低体温による死亡や虚弱牛を減らす。

保温する

カーフジャケットなどで低温によるストレスを低減し、疾病感染リスクを減らす。

隔離する

カーフハッチなどで子牛を隔離し、下痢や肺炎に感染するリスクを減らす。

※詳しい日程・事業内容については畜産部へお問い合わせください。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動
内容をご紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその
時々のトピックスなど、組合員の皆様に
定期的にお伝えします。
各団体の詳しい取り組み内容はWEB
サイトをご覧ください。

JA北海道中央会

JA北海道大会決議事項である「サ
ポーター550万人づくり」に向けて、
道民の皆さんに食と農・JAの魅力を伝
えるスマートフォンアプリ「JA2MP
（ジエイエイジャンプ）」のダウンロード
を開始しました。

農業イベントや関連施
設のチェックインスポッ
トラリー、直売所から発
信するオススメ農畜産物
情報など、皆さん一人一
人が北海道の魅力を再確
認していただけるよう地
域の魅力発信に努めて参
ります。



JA北海道信連

北海道若手女性農業者集団「LINKS」のメ
ンバーを講師に、小学生とその親を対象とし
た「学ぶ・作る・食べる 旬食力レッ
ジン札幌親子料理教室」を開催
しました。

「料理教室」と「食の講演」を
通じて、地域の皆さんに地元食
材のファンになってもらい、さ
らにJAバンクの商品・利便性
を紹介し、サポーターにつなげ
ることを目的としています。



ホクレン

酪農生産基盤強化対策の一環として、北海
道特有の冬場の子牛事故率の低減に向けた
「冬期子牛飼養環境向上支援事業」を実施しま
す。

具体的には、出生直後の子牛を暖める機械
装置や分娩監視モニター等の導入助成を行いま
す。今年の冬、子牛の寒冷ストレス対策の
強化に向けて本事業をご活用いただき、将来
の経営基盤の基礎となる優良後継牛の生産に
お役立てください。日程・事業内容の詳細は、
JA担当課へ問い合わせください。



JA共済連北海道

共済ホールで、「全道LA・スマサポ
大会」を開催し、前年度の普及活動で優
秀な成績を収めたLA62名と、スマサ
ポ29名を表彰しました。

JA共済では、これからもLA・スマ
サポによる「3Q訪問活
動」と「あんしんチェッ
ク」の実践を通じて、組
合員・地域利用者の信頼
と期待に応え、「安心」
と「満足」の提供に努め
て参ります。



JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命
と健康を守るため、本会事業の積極的な
啓蒙推進を図ることを目的として、広報
誌「すまいる」を発行しております。年
3回発行しており、様々な医療・健康情
報を発信しております。

ホームページにバックナンバーを掲載し
ております。是非ご一読ください。



- ①運動会の競技の一つ。オーエス！
②現在よりも前の時点
③心臓から伝わるドキドキ
④郵便物に押されるもの
⑤懸命に走ると切れます
⑦ストップ——で時間を測定した
⑩旧約や新約などがあります
⑫コメやキビ、トウモロコシなどのこと
⑭パンやうどんの主原料です
⑯よく行く店の店員と顔——になった
⑰足のサイズに合った物を買います
⑲畑に土を盛り上げて作ります

- ①刀の手で握る部分
③おどけていて面白いさま
⑥結婚する二人を取り持つ人
⑧春・夏・秋・冬のこと
⑨育ち盛りの子は食欲——だ
⑪粘り強い、——のある若者
⑬セキセイ、オカメ、ダルマ
——といえば
⑮実は栗きんとんなどの色付けに使われます
⑰空にばかりと浮かびます
⑱線をきれいに引くときペンに添えます
⑳漫才コンビではボケと掛け合う
㉑よく爪研ぎをするペット

☆当選者は
坂 笠 守 齊 早
田 原 藤 坂
容 裕 友 裕
子 介 香 子
さん さん さん さん
以上5名です。
おめでとつございます。

※応募の際にご記入いただいた個人情報は、賞品の抽選・発送に利用させていただきます。また、ご意見ご感想については、本誌編集の参考にさせていただきます。

⑤	⑦	⑧	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
ジ	ウ	ゴ	ヤ	コ	ウ	コ	ウ	コ	ウ
②	④	⑥	⑧	⑩	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
ソ	ウ	ケ	ブ	ド	ウ	コ	ウ	コ	ウ
ク	③	⑤	⑦	⑨	⑪	⑬	⑭	⑮	⑯
①	④	⑥	⑧	⑩	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
テ	②	④	⑥	⑧	⑩	⑫	⑬	⑭	⑮
③	⑤	⑦	⑨	⑪	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
シ	④	⑥	⑧	⑩	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
①	③	⑤	⑦	⑨	⑪	⑬	⑭	⑮	⑯
オ	②	④	⑥	⑧	⑩	⑫	⑬	⑭	⑮

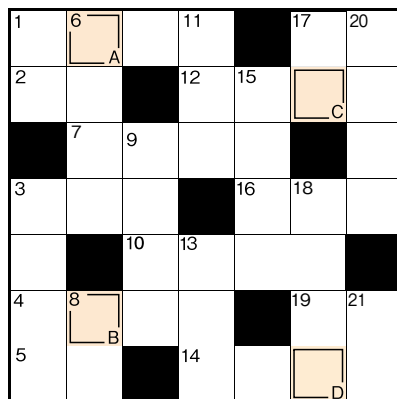
☆先月号のこたえは
『シユウブン』でした

こたえ・当選者

頭の体操

クロスワードパズル

二重マスの文字をA→Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



正解者の中から抽選で5名の方に農協全国商品券1,000円分（全農）をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております！！

【応募方法】

●ハガキ

うら

- ①クイズの答え
②今月号の良かった内容
③取り上げて欲しい内容
④その他ご意見・感想など
⑤住所・氏名・年齢・電話番号

おもと

〒071-0298
美瑛町
中町2丁目6-32
J A びえい「丘の大地」
クイズ係

●F A X 0166-92-2977

●Eメール kouhoushi@biei.ja-hokkaido.gr.jp

【締め切り・発表】

毎月20日(当日消印有効)、当選者は次号でお知らせします。

9月のあなたの運勢

監修/モナ・カサンドラ

おひつじ座 (3/21~4/19)

【全体運】ささいなことが気になって仕方ないかも。常におおらかさと笑顔を忘れずに。気分転換には遊歩道や公園の散策を
【健康運】スポーツを楽しむと、体調に好影響あり
【幸運を呼ぶ食べ物】トウガン

おうし座 (4/20~5/20)

【全体運】イベントや行楽に誘われるなど、外出の機会が増える予感。意欲的に参加すれば、何かしら得るものが多いはず
【健康運】新陳代謝の促進が健康の秘訣（ひけつ）になりそう
【幸運を呼ぶ食べ物】サツマイモ

ふたご座 (5/21~6/21)

【全体運】うっかりミスが増えそう。慣れている作業でも丁寧に。集中力を高めるには、料理や手芸、DIYが最適
【健康運】無理なダイエットはNG。適度な運動を
【幸運を呼ぶ食べ物】シメジ

かに座 (6/22~7/22)

【全体運】スムーズに人脈のネットワークを広げられます。初対面の人にも気さくに話しかけて、新ジャンルへの挑戦も吉
【健康運】健康法に凝り過ぎず、自然体で過ごして
【幸運を呼ぶ食べ物】サケ

しし座 (7/23~8/22)

【全体運】リラックス気分で過ごせる月。習い事や趣味に力を注いでみて。美術館巡りなど、芸術的なレジャーも幸運
【健康運】おおむね良好。アクティブに動き回れそう
【幸運を呼ぶ食べ物】イチジク

おとめ座 (8/23~9/22)

【全体運】新しいことを始める好機。何事にも前向きにトライを。オープンしたばかりのお店に足を運ぶのも良い刺激に
【健康運】小さなけがに注意。慌てず、落ち着いて
【幸運を呼ぶ食べ物】サンマ

てんびん座 (9/23~10/23)

【全体運】ささやかな喜びに恵まれる期間。感謝すれば、さらなる幸運を引き寄せられるでしょう。周囲への気配りも大切に
【健康運】ストレッチや体操などで軽く動くと上昇
【幸運を呼ぶ食べ物】シイタケ

さそり座 (10/24~11/22)

【全体運】向学心が旺盛になる時期です。カルチャーセンターの体験教室を受講するなど、興味のあることに意識を向けて
【健康運】暴飲暴食は控え、栄養バランスに配慮を
【幸運を呼ぶ食べ物】サトイモ

いて座 (11/23~12/21)

【全体運】つまらない意地を張りやすい気配。自分に正直になることで、運気回復の呼び水に。気分転換には読書がベスト
【健康運】まめな休息を忘れず、ゆったり過ごして
【幸運を呼ぶ食べ物】ゴマ

やぎ座 (12/22~1/19)

【全体運】開放的な気分になり、いろいろなことにチャレンジしたくなりそう。思い切って行動すれば、世界が広がります
【健康運】不規則な生活を正すことで、快方の兆し
【幸運を呼ぶ食べ物】栗

みずがめ座 (1/20~2/18)

【全体運】マイナス思考しやすく、かえって運気低下を招く結果に。気楽に構えて。リラックスするにはマッサージが有効
【健康運】長時間同じ姿勢は禁止。適宜、動かして
【幸運を呼ぶ食べ物】マイタケ

うお座 (2/19~3/20)

【全体運】ちょっとした失敗にクヨクヨしがち。サッと気分を切り替えて。親しい人に話を聞いてもらおうとスッキリします
【健康運】ストレス解消が健康キープのポイントに
【幸運を呼ぶ食べ物】アシタバ

JA配置薬推進員交代のお知らせ

日頃よりJA配置薬をご利用いただきありがとうございます。

JA配置薬 美瑛地区を担当しておりました山田宏士職員が8月31日をもちまして、異動となりました。

在職期間中、皆様から寄せられた暖かいご支援並びにご愛顧に対しまして厚く御礼申し上げます。

なお、9月より新しく 砂田明美推進員 が、当地区を担当させていただくことになりました。

今後も、なお一層のご要望に応えるよう努力してまいりますので、更なるご支援・ご愛顧とJA配置薬のご利用をよろしくお願い申し上げます。



砂田 明美

（すなだ あけみ）

自宅 0166-34-2808

携帯 090-3116-1348

※ お薬の不足の場合は上記推進員までご連絡ください。

- ・ JA北海道厚生連 医薬事業部 配置薬課
フリーコール (0120) 99-4193
※平日8:30～17:00まで
- ・ 美瑛町農業協同組合
生産資材課 電話 (0166) 92-1411

JA Biei Information



クミアイ自動車学校より 運転免許を取得されるみなさんへ

平成29年3月12日に施行される道路交通法の改正により、準中型免許が新設されます。これとともない普通自動車運転免許で運転できる自動車の範囲が変更になりますのでお知らせします。

○ 普通免許で運転できる自動車の範囲が変更になります。



現行制度で普通免許を取得 (平成29年3月11日まで)		新法で普通免許を取得 (平成29年3月12日以降)	
5,000キログラム未満	→ 車両総重量 →	3,500キログラム未満	
3,000キログラム未満	→ 最大積載量 →	2,000キログラム未満	
10人以下	乗車定員	10人以下	

これにより、今後駆け込みでの入校生が増加し、混雑により法改正前までに免許証を取得できない恐れがあります。お早めに入校されますようお願いいたします。

窓口

営農部 ☎ 68-7014

生産資材課からお知らせ

農薬の返品は9月9日（金）までが期日ですので、お早めの返品をお願いいたします。
これから使用する農薬につきましては、使用終了後の返品で構いません。

※有効期限が過ぎている物や汚泥品・破損・開封済み等の農薬につきましては、返品を受けることができませんので、予めご了承ください。

毒劇物の購入の際には、
必ず印鑑をご持参頂きますようお願いいたします。

皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

窓口

生産資材課 ☎ 92-1411

農業情報配信サービスの開始について

正組合員の皆様に文書によりご案内致しました農業情報配信サービスのWEB利用お申込みの受付を現在順次行っております。
FAX同報データをPC・スマートフォンでも閲覧できる大変便利なサービスですので、組合員の皆様のより一層のお申込み・ご利用をお待ちしております。お申込み・お問い合わせは総務部まで。



窓口

総務部 ☎ 92-2111

農作業事故を未然に防ごう！

農機協では、9月から10月を「秋の農作業安全運動期間」とし農作業事故防止を呼びかけています。

この時期は、秋の収穫作業で忙しい時期となり、収穫機械による事故が多く発生します。トラクターや作業機等を動かす場合は、**クラクションや周囲の人に声かけ**など、基本を守り農作業安全に努めましょう。

また、夕暮れ、夜間には**回転灯や低速車マーク**などを装着して一般自動車と追突事故を未然に防ぎましょう。

窓口

研修センター ☎ 92-0588

JAグループ北海道から スマートフォンアプリ配信

JAグループ北海道から食と農につながるアプリ「JA²MP（ジェイエイジャンプ）」がリリースされました！

JAグループならではの豪華景品が当たる、農業イベントや関連施設へのチェックインスポットラリーや、オススメ農畜産物情報などお得なコンテンツが満載ですので、ぜひご登録ください！



窓口

総務部 ☎ 92-2111

ホクレンSS×ワンピース コラボグッズプレゼント！



ホクレンSS（給油所）では、サマーフェア第2弾を下記の内容で実施致します。

期間：9月1日（木）～9月30日（金）
場所：ホクレン美瑛北町給油所・大町セルフ給油所
内容：対象期間中の給油レシート20%分を店頭スタッフにお渡し下さい
専用の応募ハガキを進呈します。抽選で合計1,500名様に、ワンピースプレミアムコラボグッズなどをプレゼント！

※応募ハガキは数量限定です。詳しくはSSスタッフまで

“国産メーカー冬タイヤ 早期予約受付中です！” ～早めの準備で安心・安全～

ホクレンSS（給油所）では、冬タイヤの早期予約を受け付けています。

早期予約特典として、9月30日までにご予約頂いたお客様には、粗品をプレゼント！また、早期特別価格にてタイヤをご提供させて頂きます。さらに、タイヤ組替脱着工賃・ホイールバランス調整・廃タイヤ処分料をサービスさせて頂きます。なお、アロックVIP会員は店頭給油値引（1円/ℓ 6ヶ月間）となります。

詳しくは、ホクレンSSスタッフまでお問い合わせ下さい。

窓口

ホクレン美瑛北町給油所 ☎ 92-2157

職員の動き

8月より当J Aで勤務となりましたので、ご紹介致しますとともに、よろしくお願い致します。



■北海道信連から出向派遣

金融部 審査役
こやなぎ ひであき
小柳 秀明



現地確認をする
飛田会長

J A北海道中央会の飛田稔章会長らが8月26日、台風による農業被害状況の確認のため来町されました。被災調査では、飛田会長ら一行の現地確認を前にJ A会議室にて被害状況が報告されました。熊谷組合長

J A道 飛田会長 中央会

美瑛町の 被災圃場を視察

道などに行政支援 要請する

は「組合員の被災圃場は泥まみれの状態でかける言葉も失うほど。一日も早い営農開始を願うところですが」と被災者の失意を訴えていました。被災圃場として旭地区等を訪れた一行は、被害状況を確認し現地の声にしっかりと耳を傾けていました。大雨のたびに河川の氾濫におびえる組合員に対し、飛田会長は「道など行政としては農道に重きを置いていない。生活が懸かっていることを受け止めるべきだ。川底を掘り下げたり堤防を設置するなど、農業者の士気が下がらない対策を訴えたい」と話していました。



被害状況を述べる
熊谷組合長



協同の ちから

◇貯金高 238億16百万円 ◇組合員数 正組合員 736人
◇貸付高 82億12百万円 准組合員1,867人
◇出資金 11億8百万円
◇固定資産 39億57百万円

※百万円未満四捨五入
(平成28年7月末)

編集後記

「丘のまち美瑛に自然の猛威が牙を剥いた」8月に入って全国的に気候が急変し、各地で災害が発生し、美瑛町にも例外なくその余波が及んでいました。未曾有の被害に遭われた組合員の皆さんに心からお見舞いを申し上げます。H 28年の気象推移は低温傾向から一時は「冷害」も想定されたものの、7月から8月にかけて気温も上昇し、作物も遅れ気味ながら平年作へ回復の道を辿っていました。美瑛町の主幹作物の小麦収穫終了を迎え、夏作から秋作へと気持ちを切り換えた北海道を狙い定めたような台風の襲来による被災には心を痛めます。収穫を目前にして肩を落とす組合員、ご家族の皆さんへの言葉も見当たりませんが気丈に一日でも早い回復をお祈りいたします。

気をつけましょう

農作業 事故発生状況

(8月20日現在)

発生件数 3件(14件) 《8件》
負傷 3人(14人) 《8人》
死亡 0人(0人) 《0人》

() は28年度累計 《 》 は昨年同期累計

こよみ

9月の主な行事予定

6日(火)	小麦耕作者研修会
19日(月)	敬老の日
22日(木)	秋分の日
24日(土)	2016北海道ホルスタイン ナショナルショウ(～25日)

